

18-1 生産諸力の発展の所有諸関係による妨げと近代の労働者の歴史的使命 **重要!!**

「だが、われわれは次のことを知った。すなわち、ブルジョア階級の成長の土台をなす生産手段や交通手段は、封建社会のなかで作られたということ。……

われわれの眼のまえに、その同じ運動が進行している。……近代的生産諸関係に対する、ブルジョア階級とその支配の生存条件である所有諸関係に対する、近代的生産諸力の反逆の歴史である。……社会が自由にすることのできる生産諸力は、もはやブルジョア的文明およびブルジョア的所有関係の促進には役立たないのだ。反対に、生産諸力はこの関係にとってあまりに強大となってしまう、この関係によって阻止されるのだ。……——ブルジョア階級は恐慌を、何によって征服するか？一方では、一定量の生産諸力をむりに破壊することによって、他方では、新しい市場の獲得と古い市場のさらに徹底的な搾取によって。要するにどういうことか？要するに、もっと全面的な、もっと強大な恐慌の準備をするのである。そしてまた恐慌を予防する手段を減少させるのである。……

だが、ブルジョア階級は、みずから死をもたらす武器をきたえたばかりではない。かれらはまた、この武器を使う人々をも作り出した——近代的労働者、プロレタリアを。」

(マルクス＝エンゲルス『共産党宣言』岩波文庫P46-48)

生産諸力の発展は新興国に恐慌をもたらし、先進国に空洞化をもたらす。